

とっとり共生の森10周年おめでとうございます。

弊社の森林整備活動の取り組みにおいて、鳥取県、伯耆町ならびに関係の皆さまのご協力に感謝申し上げます。

ドコモグループは、地球環境問題を重要な経営課題と捉え、事業活動における環境負荷の低減（電力使用量・燃料使用量・紙資源使用量・温室効果ガス排出量・廃棄物発生量）に

取り組むとともに、モバイルICTを基軸としたサービスの開発や提供を通して、生活やビジネスの様々な場でイノベーションを起こし、



お客さまとともに社会全体の環境保全に貢献するため、「環境に配慮した事業の実践」「環境マネジメントの強化」「環境コミュニケーションの推進」を基本方針として環境保全活動に取り組んでいます。

NTTドコモでは、自然環境保護活動の一環として1999年から社員やその家族が中心となり、「ドコモの森」づくりを推進しており、林野庁の「法人の森林」制度や社団法人国土緑化推進機構の「緑の募金」制度、各都道府県が実施している「企業の森づくり」サポート制度などを活用し、全国47都道府県49か所で開設し、総面積は野球場（グラウンド面積1.3ヘクタール）の約146分に相当する約190ヘクタールとなっています。

また、「とっとり共生の森」はドコモが森林整備活動に取り組むにあたって、安全に活動ができること、そして、森林から望む景色が美しく、ボランティア活動を通じて社員がリフレッシュできる環境であることから協定を結ばせていただきました。

森の名称は社員から募集し、「ドコモとっとり伯耆の森」と名付けました。

毎年、鳥取県農林水産部、鳥取県西部総合事務所、伯耆町役場、有限会社サングリーンの皆さまにご指導いただきながら、植樹、雪起こし、下草刈り、歩道整備、枝打ち、間伐とヤマザクラの成長に合わせた森林整備活動を体験しました。指導員の方々の説明に従い、初めて使う鎌や手ノコを持ち、ケガをしないよう慎重に一生懸命、作業に取り組みました。

参加者からは、「ヤマザクラが元気に育ってほしいと子を持つ親のような気持ちでいっぱいです」「森を育てる大切さを感じました」「日常ではあまり触れることのない環境保全活動を考えるきっかけとなり、今後も継続的に参加したい」「苗木が立派な樹木になり、努力と時間が森を作るんだなぁと感動しました」などの感想がありました。年に1回の活動なので「ドコモの森」を訪れると、久しぶりにわが子や友人に会うような愛おしさも感じます。

そして毎回、気持ちの良い汗を流し、日常生活の中ではなかなか得られない一体感も生まれます。  
この活動で、普段交流の少ない社員同士がコミュニケーションを図れるなど、有意義な時間にもなっています。

活動後に参加者全員で撮影する記念写真は、いつも達成感に満ちた笑顔があふれています。  
これからもヤマザクラの成長を楽しみに、森林整備活動を続けていきます。

今後もドコモグループは、事業活動と地球環境の両立、さらには住み良い地球を実現するために地球環境にやさしい社会システムの構築に貢献します。



《「とっとり共生の森」森林保全・管理協定の概要》

- 1 調印日 平成20年4月22日（(株)NTTドコモ中国支社、県、伯耆町）
- 2 協定森林 西伯郡伯耆町坂長 2.8ha
- 3 協定内容 （株）NTTドコモ中国支社が、県、伯耆町と協力し、植栽、下刈り、除伐、枯松処理、作業歩道整備などの森林保全活動を実施する。
- 4 協定期間 10年間（平成20年4月22日～平成30年3月31日）
- 5 活動実績
  - H20. 5.17 広葉樹苗木植栽（ヤマザクラ 300本）参加者 62名
  - H21. 4.18 同上 参加者 58名
  - H22. 4.24 ヤマザクラの雪起こし、作業歩道の整備 参加者 30名
  - H23. 10. 1 下草刈り、樹木の枝打ち 参加者 26名
  - H24. 8. 4 下草刈り、除伐 参加者 27名
  - H25. 6. 1 下草刈り、作業歩道の整備 参加者 33名
  - H26. 4.19 除伐、作業歩道の整備 参加者 41名
  - H27. 6.20 下草刈り、除伐、枝打ち、歩道整備など 参加者 20名
  - H28. 5.28 ヤマザクラの間伐 参加者 20名